



1912オーバーランドモデル59Tツーリング



製造情報

製造商	ウィリーズオーバーランドモーターカンパニー
組付工場	トレド、オハイオ
モデル生産量	不明 (このモデルのみ)
総生産量	26,000
馬力	30
重量	1,900ポンド/ 862キログラム
当時売価	\$900

イノベーション(ポイントのみ)
半楕円形のフロントスプリングを使用された
2つの独立した点火システム
より重い車輪が使用された
トランスアクスル

1912年度素晴らしい売り車

オーバーランドは1912年から1918年までに2番目に売れる車でした。しかしそれでも、1912年にモデルTの後ろにはほぼ69,000台ありました！ オーバーランドの背後にある天才はジョン・ノース・ウィリーズ(John North Willys)ニューヨークのエルミラにある初期の自動車販売店。ウィリーズはオーバーランドを販売することを同意し、\$ 10,000の小切手で1907年に500台を注文した。車が出ていないから、彼はインディアナポリスに行って、失敗した会社を買った。1909年に1908年の465台から4900台に生産を増やし、またオハイオ州トレドの教皇トレド自動車工場に全操業を移した。同社はまた有名なウィリス・ナイトを生産されました。フォードとバンタムと共に、それは不滅のWWII「ジープ」を作り出しました。

ミシガン州のGrosse PointeのJerry VanOoteghemから貸し出。JerryはPiquetteへいくつかの車を持っています。彼はこのPiquette博物館のモデルTクラブの活発なメンバーです。